

# 史跡棚底城跡ガイダンス施設の正式名称が 「天草戦国ミュージアム」に決定！

## ◆施設の概要◆

【構造】木造・鉄骨造・RC造平屋建て 【敷地面積】約8,281㎡ 【延床面積】約1,901㎡  
【主な施設】天草戦国ミュージアム、市役所倉岳支所、倉岳図書室、多目的室、カフェスペース

倉岳町に令和8年11月開館予定の（仮称）史跡棚底城跡ガイダンス施設の正式名称が、「天草戦国ミュージアム」に決まりました。

名称の決定要素は次のとおりです。

- 天草諸島には、相当数の中世城が分布し、棚底城跡をはじめとする貴重な遺跡が多くあること。
- 「天草」は中世段階の範囲（上天草市、天草市、苓北町、鹿児島県長島町）を総称した名称であり、当時から残る地名であること。
- 棚底城跡だけでなく、将来の国史跡追加指定を目指す中世城郭群のガイダンスを行うことから、あえて特定の史跡名称を用いず、天草全体の戦国時代に関する施設であることをアピールできること。

- 取り扱う時代は、正確には「中世（概ね平安時代末期から戦国時代末期頃）」であるが、一般的に親しみがある「戦国」を施設の名称に採用することで、子どもから大人まで多くの人たちが興味を持ち、訪問意欲をかき立てられること。
- 「ガイダンス施設」は、既存の崎津集落ガイダンスセンターと混同する恐れがあり、また「博物館」はその機能を有さない。近隣に史跡ガイダンス施設である「福井洞窟ミュージアム（長崎県佐世保市）」や「田中城ミニミュージアム（熊本県和水町）」などがあり、同じ性格の施設であることから「ミュージアム」を採用する。

## 「天草戦国ミュージアム」のPRブースを設置

天草戦国ミュージアムがどのような施設かを多くの皆さんに知ってもらうため、模型と内・外観のイメージ図を展示します。

回 8月1日（金）～29日（金） 8:30～17:15  
場 市役所本庁舎1階 アマクサン広場

棚底川を表したボールプールや、歴史と城郭の軌跡をたどるシアターなど、城に関心がある人だけでなく、幼児から大人まで、家族連れの人たちも天候を気にせず気軽に楽しみ・学べる施設となっています。

国道266号沿いの倉岳山頂へ向かう交差点付近に位置しており、御所浦恐竜の島博物館がある御所浦への船待ち時間にも立ち寄りやすい立地です。



※イラストは全てイメージ